

|                  |  |
|------------------|--|
| 日 時              | 令和5年11月22日(水) 16:00~17:00 第20回経営会議   |
| 出席者              | 城副市長、伊地知副市長、大久保副市長、技監、政策局長、総務局長、財政局長、市民局長、中区長  |
| 欠席者              | 平原副市長、温暖化対策統括本部長   |
| 議 題              | 1 新たな図書館像（横浜市図書館ビジョン）の策定について【教育委員会事務局・政策局】   |
| 議<br>事<br>要<br>旨 | <p><b>【論点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10～20年後を見据え、横浜市立図書館の目指すべき姿や取組の方向性を整理した「横浜市図書館ビジョン」を策定する。</li> <li>・ 近年の社会状況や図書館に関するニーズ等を踏まえ、これらの図書館のあり方について、次の5つの基本方針を定める。<br/>〈5つの基本方針〉</li> <li>①未来を担う子どもたちのための図書館～地域とのつながりの中で子どもと子育て世代を支援する</li> <li>②あらゆる市民のための図書館～体験・交流・創造の拠点となる</li> <li>③まちとコミュニティのための図書館～地域課題の解決に取り組む</li> <li>④利用しやすい図書館サービス～デジタル活用と施設の機能拡充を進める</li> <li>⑤柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館～環境の変化に適切に対応する</li> <li>・ 横浜市図書館ビジョンの実現にあたっては、財政ビジョンで示すファシリティマネジメントの考え方と財政負担を考慮し、1区1館を基本としながら、市立図書館の機能拡張とアクセシビリティの向上の両立を目指し、施設整備等を進めていく。</li> </ul> <p><b>【説明要旨】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これからの図書館は、本・読書を通じて「知る・学ぶ・深める」ことができるのはもちろん、子育て世代をはじめとした全ての市民一人ひとりにとって居心地よく自由に過ごすことができる「つどう・憩う」場になる。</li> <li>・ 機能の充実や、情報空間（WEB）との一体化、協働、まち・地域とのつながりを通じて図書館を拡張し、知識・新たな価値の創出を目指す。</li> <li>・ 新たな機能・機能拡張に伴い、子どもや子育て世代が利用しやすい環境づくり、居心地のよい空間づくり、体験・実践・交流の場づくりを進める。</li> <li>・ 令和6年度は図書館ビジョンを具体的に推進するために、長期的な視点で図書館の利活用検討を行う。また、短期的な視点では蔵書の充実・取次所の設置による機能強化を図る。</li> </ul> <p><b>【主な意見等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蔵書の適切な保存環境について、地域特性を踏まえて整理するといった具体的な内容を整理すること。</li> </ul> |

- ・ 図書館ビジョンで掲げる図書館像では、従来の書籍閲覧、レファレンスの場を基本としながらも機能が拡張することになる。この先の課題として、地区センターやコミュニティハウス等の市民利用施設との関係性や施設が所蔵する図書の取扱いについても検討すべき。
- ・ 図書館の整備には10年単位で時間がかかり、整備を進めている間にも読書を取り巻く社会環境は変わっていく。その時に求められる役割や機能等を地域と相談しながら整理して進めること。

**【結論】**

主な意見を踏まえつつ、局案の方向性について了承。